

救急医療を守るために

9月9日は「救急の日」です。医師・救急車などの限りある救急医療を救急治療が必要な人に行き渡らせるためには、皆さんの適正な利用が必要です。そこで、救急医療の現状や救急車の適正利用などについてお知らせします。

夜間急病センターの現状

小樽市夜間急病センターは、土曜日の午後および夜間に急病者の初期救急診療を行っており、小樽市医師会が指定管理者として運営を行っています。道内の急病センターの中でも体制が充実している反面、多額の運営費がかかること(左の表を参照)や、医師の確保が課題となっています。救急医療は急病時のためのものです。「日中忙しいから」「待ち時間が短そうだから」

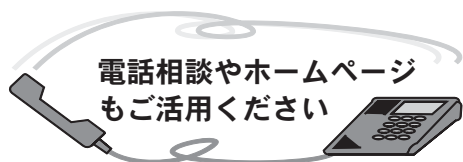
平成30年度 小樽市夜間急病センター 運営費および患者数	
年度末人口	11万5621人
運営費	2億2746万円
市民一人当たりの運営費	1967円
患者数	6242人

※小数点以下切り上げ

ど緊急性が無い場合での安易な受診は避けてください。かかりつけ医を決めておくことも大切です。健康の不安を感じたときの相談や、病気の早期発見につながりますので、かかりつけ医を持ち、できるだけ日中の診療時間に受診しましょう。

救急車の適正利用を

昨年の市内での救急車の出動件数は、前年より407件増加し、6827件でした。これは、1日当たり約19件の出動があったこととなります。救急車の数も限られており、本市では5台の救急車で市内の救急搬送を担っています。救急車は、生命の危険を伴うけが人や急病者を一刻も早く医療機関へ運ぶための緊急車両です。緊急性が



電話相談やホームページもご利用ください

【土・日曜日、祝日の当番病院】 ☎④618
録音による音声案内です
案内時間：【土曜日】午前7時～午後2時
【日曜日、祝日】午前9時～午後6時

【北海道小児救急電話相談】 ☎011(232)1599
(#8000家庭のプッシュ回線、携帯電話)
看護師や小児科医師が電話で助言します
受付時間：午後7時～翌日の午前8時
ホームページ <http://www.qq.pref.hokkido.jp>

【北海道救急医療・広域災害情報システム】
☎0120(20)8699(ハローキューキュー)
☎011(211)8699(ハローキューキュー)
受診可能な医療機関情報を24時間提供します
ホームページ <http://www.qq.pref.hokkido.jp>

無いた軽傷や、タクシー代わりなどの利用はやめましょう。

◇ ◇ ◇

医師や看護師、救急車などの数は限られています。本市の救急医療を守るため、皆さんのご理解とご協力をお願いします。

◆お問い合わせは、保健所保健総務課 ☎③117、FAX②1469へどうぞ。

救急広場

9月8日(日)～9月14日(土)を救急医療週間として、下記の日程でイベントを開催します。

▶とき 9月8日(日)の午後2時～4時 ▶ところ ウイングベイ小樽5番街2階ハイタッチコート ▶内容 AEDの使用法や心肺蘇生法の説明、ストレスチェックなど

☒詳細 保健所保健総務課 ☎②3117、FAX②1469

病気のことを知るために！ 健康教室のお知らせ



市民健康教室

▶とき ①9月7日(土)の午後2時～3時30分、
②9月26日(土)の午後6時30分～8時
▶ところ ①住吉クラブ、②蘭島会館
▶内容 ①「糖尿病って怖い病気?」「これからもこの土地で暮らすために」、②「認知症」「高血圧・心臓病」
☒詳細 小樽市医師会 ☎④4111、FAX③9544

糖尿病健康教室

▶とき 9月18日(土)の午後2時～3時
▶ところ 市立病院
▶内容 「糖尿病と運動療法～いっしょにやろう血糖を下げる運動」
▶講師 大石督(おおいしあつし)(市立病院リハビリテーション科主査)
☒詳細 市立病院糖尿病内科外来 ☎⑥1211内線1232、FAX⑥1600